

鴨川市教育委員会 6 月定例会議事録

- 1 日 時 令和3年6月23日(水) 開会 午後2時00分
閉会 午後4時30分
- 2 場 所 天津小湊支所 2階 会議室
- 3 出席委員 (1) 鈴木希彦 (2) 根本新太郎 (3) 石井千枝
(4) 永島康弘 (5) 吉原里夏
- 4 出席職員 (1) 三浦 徹 (2) 入江裕一 (3) 石川丈夫
(4) 石井利彦 (5) 鈴木浩一 (6) 谷 智恵
(7) 中村明博 (8) 犬石貴久
- 5 傍聴者 なし
- 6 教育委員会5月定例会議事録の承認
 - ・ 鈴木教育長から、5月定例会議事録について、訂正等の確認がなされ、質疑なく、全員の了承が得られた。
- 7 教育長・委員報告
 - ・ 鈴木教育長から、5月定例会議以降に教育長が出席した行事等の内容は別紙報告書のとおりである、との報告がなされた。
- 8 報告事項
 - (1) 令和3年第2回議会定例会について
 - ・ 石井子ども支援課長、三浦学校教育課長、入江学校給食センター長から、一般質問及び新規事業の概要について、資料をもとに説明がなされた。
 - ・ 吉原委員から、安房特別支援学校鴨川分教室の現状と課題について、医療ケア児への対応や教室の状況、鴨川小学校との交流の説明がなされた。
 - ・ 永島委員から、県立特別支援学校の施設整備はどのように行われるのか、との質問がなされた。
 - ・ 三浦学校教育課長から、平成20年に鴨川分教室を設置した際は、施設改修にかかる費用は県が負担した、県立の学校の設置にあつては、県の費用負担である、との説明がなされた。
 - ・ 鈴木教育長から、高等部の設置について、鴨川市として強く要望していく、との意見がなされた。あわせて、新規事業の概要について、補足説明がなされた。

(2) 下校時における児童生徒の安全確保について

- ・ 三浦学校教育課長から、下校時における児童生徒の安全確保について、資料をもとに、説明がなされた。

(3) 「電話 de 詐欺」被害撲滅に向けた注意喚起放送について

- ・ 三浦学校教育課長から、「電話 de 詐欺」被害撲滅に向けた注意喚起放送について、資料をもとに、説明がなされた。

(4) 鴨川市 運動時の熱中症予防の指針（案）について

- ・ 中村指導主事から、鴨川市 運動時の熱中症予防の指針（案）について、資料をもとに、説明がなされた。
- ・ 石井委員から、WBGT指数の算出の方法及び運動実施時のマスクの取扱について、質問がなされた。
- ・ 中村指導主事から、WBGT指数の算出は、気温・湿度・輻射熱等をもとを総合的に判断され、この数値を計測する指数計は学校に配備済みであること、運動時は原則としてマスクを外すよう指示している、との説明がなされた。
- ・ 石井委員から、WBGT指数の計測はどこで行うのか、との質問がなされた。
- ・ 中村指導主事から、活動場所によって、輻射熱や風通し等が異なるため、それぞれの活動場所で計測を行い、実施の可否を判断する、との説明がなされた。

(5) 長期休業等における学校閉庁日の実施について

- ・ 谷主任管理主事から、長期休業等における学校閉庁日の実施について、資料をもとに、説明がなされた、あわせて、6月15日の県民の日は、翌日の指導室訪問の授業準備をするため、4名の職員が勤務する旨、校長から事前報告があった、との補足説明がなされた。

9 議 事

(1) 令和4年度使用教科用図書中学校歴史の採択替えについて

- ・ 谷主任管理主事から、令和4年度使用教科用図書中学校歴史の採択替えについて、資料をもとに説明がなされた。
- ・ 永島委員から、中学校歴史の採択替えの経緯について、質問がなされた。
- ・ 石井委員から、自由社の「新しい歴史教科書」について、再申請により新たに発行されることとなったことから、採択替えを行うことも可能となった、との説明がなされた。
- ・ 他に質疑なく、令和4年度使用教科用図書中学校歴史について、採択替えを行わないことが、挙手全員で承認された。

(2) 令和2年度教育委員会の点検・評価について

- ・ 谷主任管理主事から、令和2年度教育委員会の点検・評価について、資料をもとに説明がなされた。
- ・ 特に質疑なく、令和2年度教育委員会の点検・評価について、挙手全員で承認された。

10 その他

(1) 鴨川市の文化財保護と「文化財保存活用地域計画」の策定について

- ・ 石川生涯学習課長から、鴨川市の文化財保護と「文化財保存活用地域計画」の策定について、資料をもとに、説明がなされた。
- ・ 鈴木教育長から、文化財保存活用地域計画は、文化財の活用について、生涯学習課が事務局を担い、複数の課と連携し、国の指導を受けながら準備を進めていく、また、国の補助対象でもある、との補足説明がなされた。
- ・ 石井委員から、今年度中に策定がなされるのか、との質問がなされた。
- ・ 石川生涯学習課長から、今年度中に策定するのは、鴨川市独自の文化財保護活用計画であり、その内容は、文化財保存活用地域計画に活用できる、との説明がなされた。
- ・ 根本委員から、文化財保護活用計画の策定はコンサルタントに依頼するのか、との質問がなされた。
- ・ 石川生涯学習課長から、市が独自に行う予定であること、先行策定された市の状況から、コンサルタントはあくまで調査のための機関であり、有効な依頼方法については、慎重に検討していく必要がある、との説明がなされた。

(2) 鴨川市におけるコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入に向けて

- ・ 学校教育課犬石係長から、鴨川市におけるコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入に向けて、資料をもとに説明がなされた。
- ・ 根本委員から、3月に学校運営の基本方針を承認した後、4月に新たな校長が着任した場合は、基本方針の承認をどうするかが課題である、との意見がなされた。
- ・ 根本委員から、学校運営協議会の委員の任期について、質問がなされた。
- ・ 犬石係長から、学校評議員からの継続及び任期については、十分に協議した上で決定する、との説明がなされた。
- ・ 根本委員から、学校運営協議会に委員長を置くのか、との質問がなされた。
- ・ 犬石係長から、組織の制度設計も含め、今後、協議し決定する、との説明がなされた。

- ・ 鈴木教育長から、校長が変わった場合の方針の決定及び教職員の事務負担について、意見がなされた。
- ・ 永島委員から、先行事例にある学習支援について、鴨川市での導入について、質問がなされた。
- ・ 犬石係長から、学習支援ボランティアは、現在、約200名いる学校支援ボランティアから、輪を広げていきたい、との説明がなされた。
- ・ 永島委員から、今後の立ち上げに向けたスケジュールについて、質問がなされた。
- ・ 犬石係長から、教育委員や学校など、関係者との調整を夏の間に進め、秋までに制度設計を終えたい、との説明がなされた。
- ・ 鈴木教育長から、以前、杉並区のコミュニティ・スクールを視察した際は、地域のスペシャリストが事務まで実施していた、との説明がなされた。
- ・ 根本委員から、組織を動かしながら考えていく必要がある、との意見がなされた。

11 閉 会

閉会后、7月の教育委員会行事予定について、事務局より説明がなされた。

鈴木教育長は、一切の終了を告げ、閉会を宣言した。

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証する。

令和3年7月21日

鴨川市教育委員会 教育長 鈴木 希彦

教育長職務代理者 石井 千枝

議事録作成 (学校教育課長 三浦 徹)